

(表)

農地転用許可申請書

※提出日を記入

平成〇〇年〇〇月〇〇日

山陽小野田市農業委員会会長 様

※住所・氏名は正確をお願いします。
 ※氏名を自署する場合は押印不要です。

申請者 住所 山陽小野田市大字〇〇XXXX番地
 氏名 山陽太郎 印

下記のとおり農地の転用の許可を受けたいので、農地法第4条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

	市町	大字	字	地目		面積	利用状況	所有者	耕作者	備考	
				登記簿	現況						
土地の表示等	山陽小野田市	〇〇	〇〇	XXXX	田	田	420㎡	一毛作	山陽太郎	山陽太郎	水稻480kg
			以	下	余	白					
現況地目別面積		田			畑			計			
		420㎡			—㎡			420㎡			
事業計画	目的又は用途		農家住宅敷地拡張								
	工事の期間		許可後 年—月—日 から 平成 〇〇年〇〇月〇〇日まで								
	転用後の利用期間		永続的な利用 一時的な利用 (平成 年 月 日までに原状回復)								
	施設等の概要		名称			施設等の数	1棟当たりの建築面積	総建築面積	計画の所要面積		
			農家住宅			1	147.23㎡	147.23㎡	} 910㎡		
農業用倉庫			1	45.00	45.00						
車庫			1	25.00	25.00						
申請書作成者	氏名 (法人にあっては担当者の職氏名)			行政書士 山口三郎				※農業委員会受付欄			
	勤務先 (法人にあってはその事業所) の名称			—							
	電話番号			〇〇局〇〇〇〇番							

(裏)

申請者の職業若しくは業種又は業務内容	農業
農地の転用をしようとする事由	現在、13,400㎡の農地を所有・耕作しているが、現在の住宅が老朽化し、建て替えが必要な状態である。また、息子夫婦が同居し、農業経営を手伝うこととなったので、住宅が手狭となる。そこで、現在の住宅敷地に隣接する農地を一体的に活用して農家住宅、農業用倉庫及び車庫を新築したい。
農地の転用の妨げとなる権利を有する者の状況	申請地に賃借権、地上権その他使用収益をする権利は設定されていない。
その他参考となるべき事項	なし

添付書類

- 1 位置図
- 2 付近見取図
- 3 土地の登記事項証明書
- 4 公図の写し
- 5 事業計画書
- 6 土地利用計画図及び排水計画図
- 7 施設の平面図及び立面図
- 8 資金計画書並びに資力及び信用があることを証する書面
- 9 被害防除計画書
- 10 その他（ ）

- 注
- 1 申請者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。
 - 2 申請者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。
 - 3 「土地の表示等」欄の「利用状況」欄は、田の場合にあっては一毛作又は二毛作の別を、畑の場合にあっては普通畑、果樹園、桑園又は茶園の別を記入すること。
 - 4 「土地の表示等」欄の「備考」欄は、10アール当たりの普通収穫高その他参考となる事項を記入すること。
 - 5 「事業計画」欄の「転用後の利用期間」欄は、該当するものを○で囲むこと。
 - 6 ※印欄は、記入しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。